

# ほすびたる

No.776

令和7年1月20日  
福岡県病院協会

C O N T E N T S

- 新年の挨拶 | 年頭のごあいさつ 福岡県知事 服部誠太郎 ①
- 新年のご挨拶 公益社団法人福岡県医師会 会長 蓮澤 浩明 ②
- 新年のご挨拶 公益社団法人福岡県病院協会 会長 中村 雅史 ③
- 会員広報 | 第14回福岡県病院協会 参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会報告 公益社団法人福岡県病院協会 専務理事 壁村 哲平 ④
- 新人物 | 地域の精神医療を支える病院を目指して 医療法人光陽会 理事長 前田世絵良 ⑫
- Letter | ヘビ、蛇、巳、そしてギリシャ神話 国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園看護専門学校 顧問 朔 元則 ⑭
- Essay | 人体旅行記 乳房（その二十五） 国立病院機構都城医療センター 院長 吉住 秀之 ⑱
- 福精協の広場 医療法人祥風会 甘木病院 作業療法室主任 松葉 幸典 ⑬  
「その人が望む生活行為をもとめて」
- 福岡県私設病院協会 令和6年11月～12月の動き ⑳
- 福岡県病院協会だより ㉑
- 編集後記 岡嶋泰一郎 ㉓

# Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。  
ネットワークを利用した読影サービスで、  
あなたをバックアップします。



## Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～  
医療に地域格差があってはならない  
そう私たちは考えます。

## ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～  
放射線科の先生方向けに、遠隔  
読影システムから課金に至るまで  
統合的にサービスをご提供します。

## 株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1  
九電工福岡支店ビル6階  
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867  
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

病院寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテン・ベッドマットのリース・洗濯  
入院セット・患者私物衣類の洗濯・紙おむつ・介護用品等の販売

福岡県私設病院協会グループ

## 福岡医療関連協業組合

理事長 中尾 一久

専務理事 津留 英智  
理事 江頭 啓介  
理事 松村 順  
理事 木村 寛

理事 鬼塚 一郎  
監事 田中 圭一  
監事 横倉 義典  
事務局長 日比生 英一



JQA-QMA  
15863



〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田1217-17  
TEL(092)976-0500 FAX(092)976-2247

Clean & Comfortable

清潔さと快適さを追求します



# 年頭のごあいさつ



福岡県知事  
服部 誠太郎

新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人福岡県病院協会の皆さまには、日ごろから地域医療の向上や県民の健康増進にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会で本県ゆかりの選手たちが大活躍し、本県で開催されたインターハイでは高校生が躍動しました。福岡ソフトバンクホークスは4年ぶりのリーグ制覇を果たすなど、まさに「スポーツの力」が、私たちに元気を、勇気を、感動を与えてくれた1年でした。

産業分野では、TSMCの熊本進出に続き、半導体後工程の世界最大手ASEが本県への進出を検討しており、「新生シリコンアイランド九州」の実現に大きく近づいております。さらに、本県と福岡市が「金融・資産運用特区」の対象地域に選定され、「世界から選ばれる福岡県」の実現に向けて飛躍の年となりました。

一方で、国際情勢や円安の影響等により、エネルギー・原材料価格や物価の高騰が続いており、私たちの生活や産業経済は、依然として厳しい状況にあります。

こうした中、県では、県民の皆さまの命と健康、生活を守ることを第一とし、「1000億円の人づくり」、「県内GDP20兆円への挑戦」、「安全・安心で活力ある社会づくり」の3つの柱のもと、世界を見て、未来を見据えて、福岡県の成長・発展を加速前進させるための施策を力強く実行してまいりました。

今年は、団塊世代の方々が全て75歳以上となり、2040年頃までを見通すと、医療と介護

の複合ニーズを抱える85歳以上の高齢者は増加し、生産年齢人口は減少すると見込まれています。

国においては、医療ニーズや人口構成の変化の中、全ての地域・世代の患者が適切な医療を受けられるよう、入院医療だけでなく、高齢者救急や外来・在宅医療、介護との連携等を含む医療提供体制全体の最適化・効率化を目指す「新たな地域医療構想」が検討されています。

本県におきましても、県病院協会をはじめとする医療関係団体の皆さまと、これまでの取り組みを振り返り、「新たな地域医療構想」の策定に向けた議論を活発に行ってまいりたいと考えています。

県としましては、県民の皆さまがいつでも、どこでも、安心して必要な医療サービスを受けることができる医療提供体制、地域包括ケアシステムの構築に引き続き取り組むとともに、「健康寿命」を延ばし、生涯にわたり長く元気に暮らしていくため、県民一人一人が改めて自身の健康について考え、健康の維持、増進に取り組んでいく「ふくおか健康づくり県民運動」を進めてまいります。

今年は巳年です。これらの施策を着実に進め、その「実（巳）」を結ぶことができるよう全力を尽くしてまいります。より一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年が貴会ならびに会員の皆さまにとって、素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。

# 新年のご挨拶



公益社団法人福岡県医師会  
会長 蓮澤 浩明

明けましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年の能登半島における地震や豪雨災害につきましては、皆様のご支援並びに福岡県医師会災害医療チーム（JMAT）への派遣にご協力をご賜り心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応も一つの区切りを迎え、本年は約10年ぶりに福岡県新型コロナウイルス等対策行動計画の改定が実施されます。実効性の高い計画を策定し、新興感染症が発生した場合においても適切な医療提供を維持するため、平時から多様な感染症に対応できる、より強固な地域連携体制を構築しておかなければなりません。

今、厚生労働省では、現行の地域医療構想が本年までの取組みであることから、2040年を見据えた新たな地域医療構想についての議論が進められております。福岡県医師会では、現行の地域医療構想策定時から、国のトップダウンによる病床数の議論ではなく、医師会、医療機関並びに行政が主体となり、地域の実情を反映させることが重要であるとの認識を持って議論してまいりました。

新たな地域医療構想でも、これまで同様、地域の実情に応じて「治す医療」と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化して医療連携を推進するとともに、外来・在宅医療と介護の連携を強化し、効率的かつ持続可能な医療体制を目指しております。同じ県内や地域にあっても、都市部と中山間地では医療ニーズは全く異なっています。限りある医療資源を最適・効率化し、地域完結型の医療・介護連携体制を構築していく必要があります。今後も、国

の動向を注視ながら実効性のある取組みとなるよう、引き続き提言してまいります。

長年にわたる医療費抑制政策に加え、昨今の急激な人件費の増加、材料費、光熱費等の高騰により、公定価格で運営する医療機関の経営は大変厳しい状況に直面しております。福岡県医師会では、物価高騰対策支援等を含む国の総合経済対策に基づく補正予算を最大限活用するため、昨年12月16日に自民党福岡県議団及び自民党福岡県連に対し医療施設等への支援を要望し、今般12月補正予算として可決されました。秋田章二先生のご尽力に深く感謝致します。

2024年11月16日に日本病院協会、全日本病院協会、日本医療法人協会の3団体から出された病院経営定期調査によれば、今、多くの病院が医業利益、経常利益ともに赤字に陥っています。このまま推移すると地域医療提供体制に深刻な影響を与えることになります。

今、何より必要なことは、国民、関係省庁をはじめ多くの政治家の皆様、このような日本の医療機関の経営状況を正確に理解して頂くこととあります。医療に対する財源確保をはじめ、いろいろな手立てを行っていかねばなりません。政治の力が必要です。

そのような状況下、本年は参議院議員選挙が実施されます。日本医師連盟は日医副会長であり医療現場に精通している釜范敏（かまやち・さとし）先生を組織内候補に決定しました。適切な医療の在り方を提言し続けていくために皆様の絶大なるご支援をお願い致します。

新しい一年が、災害のない穏やかな年となることを願うとともに、皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

# 新年のご挨拶

新しい年の幕開けにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。昨年も能登半島の地震・水害をはじめとして、各地で自然災害や事故が多数発生しました。先ずは被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。能登半島地震では福岡の医療機関からも多くの医療従事者がDMATなどの医療援助隊としてかけつけました。医療従事者の皆様が地域社会の安心・安全を支える中で、多大な努力を続けておられることに深い敬意と感謝を表します。

2024年は、新型コロナウイルス感染症のパンデミック収束後、1年以上が経過しましたが、多くの医療機関では業績の回復が進まず、依然として厳しい経営環境が続いております。病床稼働率の回復の遅れに加え、人事院勧告に伴う人件費の高騰や医療材料費の増加、さらにはエネルギー価格やその他の経営コストの上昇が重なり、多大な負担を強いられております。

また、2024年4月に実行された医師の働き方改革は、実施後の対策の効果が徐々に現れる一方で、新たな課題への対応も求められる状況となっています。例えば、超過勤務手当



公益社団法人福岡県病院協会  
会長 中村 雅史

による経営への負荷や、応援医師の派遣、救急医療の維持といった地域医療を支える体制の確保には引き続き注力が必要です。このような状況下で、いかに地域医療を守り、持続可能な運営体制を築いていくかが、私たち医療関係者に課せられた重要な使命であると考えております。

福岡県病院協会としては、各医療機関が抱える課題を共有し、その解決に向けた連携を一層強化して参る所存です。情報交換と協力体制の促進を通じて、地域全体で医療環境を向上させ、より良い未来を築いていきたいと考えております。

2025年の干支は「乙巳（きのとみ）」です。「乙」は草木が曲がりながらも成長する様子を象徴し、「巳」は物事が完成へと向かう節目を意味します。この年が、医療システムのさらなる進化と発展の一助となることを願ってやみません。

本年も引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。



# 第14回 福岡県病院協会 参与・各種委員会 正副委員長・役員懇談会報告

◎公益社団法人 福岡県病院協会 専務理事 壁村 哲平

日時 令和6年12月3日(火) 17:00~18:10  
場所 オリエンタルホテル福岡 博多ステーション3階  
オリエンタルボールルーム 恵比寿  
(福岡市博多区博多駅中央街4-23)  
出席者 病院協会参与6名、各種委員会正副委員長  
14名、役員26名(うち委員長の再掲1名)  
計45名

中村会長が挨拶の後、座長となって議事を進めました。

## 1 参与の紹介(壁村専務理事)

当日出席された参与(一宮仁氏(蓮澤浩明参与代理)、大和日美子参与、後藤渉参与、吉田龍太郎氏(井上和之参与代理)、中西裕二参与、鶴加寿子参与)の方々を順次御紹介し、参与からは挨拶いただきました。

## 2 第15回県民公開医療シンポジウムの報告

運営委員長 横倉義典  
社会医療法人弘恵会ヨコクラ病院 院長

「運動しよう! 運動から始まる健康」

会場 久留米シティプラザCボックス(144名収容)

参加者 54名

第一部 「生活習慣病と運動」

講演1 「運動しよう! 糖尿病のない健康長寿社会を目指して」

久留米大学病院 病院長

久留米大学医学部 内科学講座内分泌代謝内科部門 主任教授 野村政壽 先生

講演2 「上手な血圧との付き合い方

～身近なことに鍵がある 一運動・食事・睡眠～」

久留米大学医療センター 副院長

久留米大学医療センター 循環器内科  
教授 甲斐久史 先生

第二部 「子どもから大人まで健康に育ち生きよう! トップアスリートから学ぶ運動の基本」

講演3 「アスリートと考える運動の基本について」

一般社団法人 nanairo Lab

元男子7人制ラグビー日本代表キャプテン

女子7人制ラグビーチーム「ナナイロプリズム福岡」ヘッドコーチ

桑水流裕策 先生、他選手2名

開催概要:

第一部で専門医による講演を開催。糖尿病と高血圧について、その病態についての解説、日常生活における糖分や塩分の捉え方、摂取量や食生活における注意点、そして健康を維持するために必要な日常の中での運動などについて、一般参加者にも分かりやすいように図や表を用いて丁寧に解説をいただきました。

第二部では日常生活で簡単に行えるストレッチ体操を学び、プロスポーツにも導入されている頭脳と身体を結びつけるトレーニング「ライフキネティック」を全員で体験しました。

参加者はやはり60代以上が約7割を占めていましたが、小学生の参加者もあり目標である子供も一緒に学ぶ機会を作れたかと思えます。講演の内容も非常に分かりやすく、アンケートでも満足度の高い結果でした。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

※ 横倉運営委員長欠席のため、岩永知秋総務理事(久山療育園重症児者療育センターセンター長)が、代理で報告しました。

## 3 各委員会からの報告

ア) 病院研修会

病院委員会 委員長 壁村 哲平  
福岡県済生会二日市病院 院長

病院研修会は、当協会の院長をはじめとする病院幹部を対象として、様々な課題を共有し議論することを目的に平成25年発足した研修会です。

令和5年度は、テーマを「業務効率化への取り組み ～人と人がつながる時間を増やすために～」とし、令和6年2月7日(水)九州大学医学部百年講堂で開催しました。

趣旨は、医師の働き改革と共に第8次医療計画が2024年4月よりスタートするにあたり「働き手となる現役生活が急速に減少し、医療従事者の確保が困難になっている点を踏まえ「医療従事者の確保」、「効果的・効率的な医療の提供」が喫緊な課題であるため、「業務効率化への取り組み」をテーマとして企画しました。

診療報酬改定を控え事業効率化の視点から(株)グローバルヘルスの堀越篤子氏に2024年診療報酬改定のポイントを、特別講演として、福岡県看護協会の大和日美子会長に、「医療職の働き方を考える～看護協会の立場から～」と題し、福岡県看護協会の取組みをお話いただきました。

シンポジウムでは「業務効率化に係る現状及び課題について」を掲げ、福岡赤十字病院 院長 中房祐司先生より「救急医療の効率化 ～医師の働き方改革に向けて～」。社会医療法人財団白十字会白十字病院 病院長 渕野 泰秀先生より「当院における業務効率化の現状と課題」。産業医科大学病院 副院長兼看護部長 大松 真弓さんより「自病院の業務効率化の取り組み」。福岡和白病院 副院長兼事務部長 田上 真佐人さんより「介入・転換から試みる人材確保」の興味深い取り組みの報告を頂き、数多くの質疑応答が行われました。

#### 令和5年度病院研修会

開催日 令和6年2月7日(水)

会場 九州大学医学部百年講堂

参加者 250名

令和6年度は、テーマを「医療従事者の人材確保 ～現状と課題 そして対策～」として、基調講演で人材確保対策の現状報告とシンポジウム「病院における先進的な取り組みの紹介」を企画し、令和7年3月4日九州大学医学部百年講堂で開催を予定しています。

#### イ) 看護研修会

看護委員会 委員長 甲斐純美  
福岡大学病院 副院長・看護部長

2024年度は医療・介護・福祉のトリプル改定を迎え、医療は介護・福祉と協働し、全世代型の地域包括ケアシステムの構築を更に強化し、人々の健康を守り、豊かな生活の支援に向けた医療体制が求められています。その中、看護職は看護の専門性を発揮し、自律主体的に看護が実践できる人材の育成に取り組んでいます。看護委員会では、さまざまな場で働く看護職の看護実践能力の強化を支援し、あらゆる場で看護を提供できるよう継続した研修企画を行っております。

令和6年度の看護委員会研修では、安全で質の高い看護を提供できるように看護実践能力や看護管理能力の向上を目的に研修を企画しました。今年度もオンデマンド配信を取り入れ、多くの方に参加していただきました。研修内容は、診療報酬に関する内容でニーズも高い「認知症看護実践力向上研修」や「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」と、「看護管理者が知っておきたい『様式9』」をテーマとしました。「認知症看護実践力向上研修」は、8月の台風により延期を判断し、令和7年3月の開催を予定しております。終了した2つの研修のアンケートでは、受講生の満足度は高く、次年度も受講生のニーズに合った内容を企画する予定としています。

#### 【令和6年度】

##### 第170回看護研修会 (Web開催)

セミナー配信

令和6年7月2日(火) 13:25～15:45

オンデマンド配信

令和6年7月3日(水)～令和6年7月8日(月)

テーマ 「看護管理者が知っておきたい『様式9』」

講師 国際医療福祉大学大学院

教授・副大学院長 福井トシ子

参加者 329名

##### 第171回看護研修会 (令和6年7月31日開催)

会場 ナースプラザ福岡

テーマ 「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 2024年度改訂版」

講師 日本看護協会役職員、ファシリテータ  
福岡県病院協会看護委員会委員

共催 公益社団法人福岡県看護協会

参加者 81名  
第172回看護研修会  
(令和6年8月29日・30日中止、令和7年3月  
17日(月)・18日(火)予定)

会場 九州大学医学部百年講堂  
テーマ 「認知症看護実践力向上研修Ⅶ」  
講師  
福岡大学病院 神経内科医師 合馬慎二  
久留米大学病院老人看護専門看護師  
首藤敏夫  
九州大学病院 認知症看護認定看護師  
立石 圭  
国家公務員共済組合連合会浜の町病院  
認知症看護認定看護師 星野清子  
医療法人相生会金隈病院  
認知症看護認定看護師 宮原あや

## ウ 診療情報管理研究研修会

診療情報管理研究委員会 委員長 西山 謙  
九州大学病院 病院長特任補佐

### 【研修会】

- ▶ 本年度より本村理事が新しく担当となり、岩崎理事・本村理事のもと研修会活動を行う。
- ▶ コロナ禍の令和2～4年度はWEB開催。
- ▶ 令和5年度は令和6年2月15日に対面研修を開催。
- ▶ 令和6年度からグループワーク研修も新規に開催し、病院間の情報共有を含めた診療情報管理業務の底上げを目的とし、研修会の充実を図る。

### 【令和6年度の予定研修内容】

〔日時〕 令和7年3月10日(月)

13:00～17:00

〔場所〕 九州大学 百年講堂 大ホール

- ▶ テーマを「医療DXを考える診療情報」とし、国が考える医療DXを理解し、既に実施している医療機関からヒントをもらい、研修・情報共有を深め、日々の業務改善に少しでも繋がることを期待する。

各医療機関では1人担当者が多く、医療機関を超え、福岡での仲間を通し、運用・ルールづくりでの意見交換、アドバ

イスをもらい、日々の業務に反映できるように勉強できる環境を目指す。

### 【今 後】

- ▶ 今年度テーマとしている医療DXの他に働き方改革への対応、生成AI・RPAの活用が広がっている。診療情報管理の業務の在り方を担当部門のみならず、病院として確認・検討する時期に差し迫っており、各病院にフィットできる転換期になろうとしている。
- ▶ 医療機関の実務者の課題は多くあり、福岡県の診療情報管理における分野を本研修会が献できるように委員会のチームワークで盛り立てていきたい。

### 参考 当研修会が取り扱う一例(キーワード)

- ▶ 電子媒体・紙媒体の記録(保管/スキャン含む)
- ▶ 医療安全に関する記録
- ▶ DPC等の保険診療に関する診療情報・記録
- ▶ 病院経営に関する診療情報
- ▶ 医療の質に関する診療情報・記録(がん登録含む)
- ▶ 医療DXに関する事項
- ▶ データの精度管理(コーディング含む)・データ二次利用

## エ) 栄養管理研修会

栄養管理委員会 委員長 倉橋 操  
福岡大学病院 栄養部技師長

令和6年10月19日、第72回栄養管理研修会をWEB開催(配信後オンデマンド配信)いたしました。今回の研修会のメインテーマは「栄養管理における最新のトピックス」です。令和6年度は、6年に一度の診療報酬、介護報酬及び障害福祉サービス等報酬の同時改定、いわゆるトリプル改定となり、今後の医療、介護、障害福祉サービス等の提供体制の確保に向けて様々な視点から検討がなされ、管理栄養士の活躍の場もさらに広がる内容であり、栄養管理の重要性が示されました。

今回の研修会では、栄養管理に関する最近のトピックスとして「診療報酬改定」「口腔ケア・摂食



嚙下」「肥満症」に焦点を当て、医師および管理栄養士の立場から3名の先生方にご講演いただきました。参加人数は85名でした。会の中でアンケート調査を行い、その結果を報告いたします。職種の内訳は管理栄養士(91.1%)が最も多く、看護師、保健師、栄養士の参加もありました。

研修会の内容については、「とても良い」「良い」が各講義で90%前後と高評価でした。アンケートの回答には「とても参考になった」との声が多く、今回の研修会が実り多い会となったと感じております。次回の研修会で希望されているテーマは「がんの栄養管理」が最も多く、次いで「高齢者の栄養管理」でした。WEB開催に関する意見もあり、今後、研修内容や開催方法等は、アンケート結果を踏まえて参加者にとって満足度の高い研修会となるよう計画していきたいと思っております。

#### <第72回栄養管理研修会>

開催日 令和6年10月19日(土)(Web開催)

テーマ 「栄養管理における最新のトピックス」

参加者 85名

講演Ⅰ 令和6年度診療報酬改定における栄養管理体制について ～GLIM基準の応用～

講師 産業医科大学若松病院  
栄養管理室主任 鈴木達郎 先生

講演Ⅱ 『口腔ケア』と『摂食嚙下』と『低栄養』の密な関係

講師 公立八女総合病院  
歯科口腔外科医師 大部一成 先生

講演Ⅲ 肥満糖尿病の管理栄養 ～肥満症治療新時代における栄養マネジメント

講師 九州大学病院 内分泌代謝・糖尿病内科  
助教 武市幸奈 先生

#### オ) 臨床検査研修会

臨床検査委員会 委員長 森 健一  
社会医療法人財団白十字会白十字病院 臨床検査技師部部长

第8回臨床検査研修会を2024年3月9日(土)に開催し、テーマを「トリプル改定 医師の働き方改革・医療DXにどう備えるか!!」としました。令和6年度診療報酬改定がトリプル改定となり、講演内容を診療報酬改定のポイント、医師の働き方改革でタスク・シフト/シェアの推進を目的で生理検査における超音波検査での工夫、医療DXの推進を目的とし基本から実例までの3名の先生に講演して頂きま

した。参加者アンケート集計では、Webのみ又はハイブリッド開催希望が大多数となっています。

今後の研修会は、ハイブリッド開催を基本としながらも、現地参加での魅力を考え、多くの皆様に参加して頂けるようにより良い内容にしていきます。

#### 1 研修会開催報告

##### <第8回臨床検査研修会>

開催日 令和6年3月9日(土)

13:25～16:30分

会場 国歌公務員共済組合連合会 浜の町病院  
3階研修講堂

ハイブリッド開催(現地開催+Webオンライン)

テーマ 「トリプル改定 医師の働き方改革・医療DXにどう備えるか!!」

参加者 48名

講演1 2024年診療報酬改定のポイント

講師 株式会社FMCA  
代表取締役 藤井 昌弘 氏

講演2 タスク・シフト/シェアの実例

講師 済生会熊本病院 中央検査部  
係長 福重翔太 技師

講演3 「医療DX」今おさえておくべきポイントとは

講師 アクレインシステム株式会社  
代表取締役 堀江 宙 氏

#### 2 研修会開催予定

##### <第9回臨床検査研修会>

開催 令和7年1月25日(土)

13:25分～16:30

会場 国歌公務員共済組合連合会 浜の町病院  
3階研修講堂

ハイブリッド開催(現地開催+Webオンライン)

テーマ 「災害、高齢化、そして働き方改革  
～臨床検査の新たな挑戦と求められる  
対応を考える～」

講演1 災害時医療の役割  
～災害、テロ等含む～

講演2 骨粗鬆症の予防、診断、治療 ～多職種連携と地域連携の重要性～

講演3 タスク・シフト/シェアについて  
～静脈路の確保～

1) タスク・シフト/シェアへの取り組み  
～採血業務における静脈路確保～

## 2) 末梢静脈血管へのアクセス

### カ) リハビリテーション研修会

リハビリテーション委員会 委員長 梅津 祐一  
医療法人共和会小倉リハビリテーション病院 院長

#### 第20回リハビリテーション研修会

開催日 令和6年10月5日(土)

会場 九州大学医学部百年講堂

参加者 88名

テーマ 「脳卒中診療・リハビリテーションの  
最新情報」

#### 基調講演

「脳卒中急性期治療、薬物療法、リハビリテ  
ーションと脳卒中相談窓口について」

講師 国立病院機構九州医療センター  
副院長 岡田 靖 先生

#### シンポジウム

「脳卒中急性期から生活期までのリハビリテ  
ーションと就労・生活支援を含む医療連携」

(1) 「脳卒中治療ガイドラインと回復期リハ  
ビリテーションの最新情報」

講師 誠愛リハビリテーション病院  
リハ科部長 鍵山智子先生

(2) 「急性期病院での摂食嚥下障害患者への  
介入のあり方について ～早期経口摂取  
に向けた体制整備と対応の統一化に向け  
て～」

講師 国立病院機構福岡東医療センター  
言語聴覚士 佐藤文保先生

(3) 「脳卒中の回復期リハビリテーションと  
就労支援の取り組み」

講師 福岡リハビリテーション病院  
作業療法主任 山田達己先生

(4) 「脳卒中生活期のリハビリテーション」

講師 医療法人共和会小倉リハビリテ  
ーション病院  
理学療法士 小川 彰 先生

基調講演で脳卒中急性期治療のポイントから発  
症・再発予防を目的とした薬物療法、さらに脳卒中  
相談窓口の活動について、九州医療センター副院長  
の岡田靖先生にわかりやすく概説していただいた。  
その後、脳卒中診療の第一線で活動されているシン  
ポジストにより、脳卒中急性期から生活期までのリ

ハビリテーションと就労・生活支援を含む医療連携  
をテーマに活発な議論を行った。

#### 第21回リハビリテーション研修会

開催日 令和7年3月15日(土)

会場 ナースプラザ福岡

「リハビリテーション・栄養管理・口腔管理の  
連携」をキーワードに、リハビリテーション、  
栄養管理及び口腔管理の連携・推進をいかに進  
めるかを各病院・地域での取り組みをもとに議  
論していきたい。

### キ) 経営管理研究会

経営管理委員会 委員長 中島 克洋  
福岡県済生会福岡総合病院 事務部長

#### 1 令和6年度委員会開催報告

令和6年度第1回経営管理委員会

(令和6年10月7日開催)

協議事項 ・担当理事、委員の交代について  
・令和6年度経営管理研究会の  
開催について  
・その他

#### 2 研究会開催報告

令和5年度第1回経営管理研究会

・開催日時 令和6年3月4日(月)  
15:00～17:00

・会場 九州大学医学部百年講堂

・テーマおよび講師、座長

「診療報酬改定説明会」

講師 一般社団法人日本病院会 副会長

中医協委員

社会医療法人天神会

総病院長 島 弘志 先生

座長 公益社団法人福岡県病院協会

担当理事

社会医療法人水光会宗像水光会

総合病院 理事長 津留英智 先生

・参加者 128人

#### 3 研究会開催予定

令和6年度第1回経営管理研究会

開催日時 令和7年2月17日(月)

14:00～16:00

会場 九州大学医学部百年講堂

テーマおよび講師

「新しい地域医療の構想」

講師 産業医科大学医学部公衆衛生学

教授 松田晋哉 先生

「診療報酬改定を受けての病院経営」

講師 社会医療法人天神会

総病院長 島 弘志 先生

## ク) 医療事務研究会

医療事務委員会 委員長 三島穰史  
国家公務員共済組合連合会新小倉病院 医事課長

### 1 令和6年度委員会開催報告

令和6年度第1回医療事務委員会

(令和6年10月4日開催)

協議事項 ・担当理事、委員の交代について  
・令和5年度医療事務研究会報告、  
第124回医療事務研究会の開催  
について  
・その他

### 2 研究会開催報告

#### 第123回医療事務研究会

開催日時 令和6年3月28日(木)

13:00～16:30

会場 九州大学医学部百年講堂

講師 (株)リンクアップラボ

代表取締役 酒井麻由美 氏

テーマ 「2024年度診療報酬改定のポイント」

参加者 181名(振込欠席者9名含む)

### 3 研究会開催予定

#### 第124回医療事務研究会

開催日 令和7年3月14日(金)

会場 九州大学医学部百年講堂

テーマおよび講師

講演Ⅰ「人工知能はレセプトチェックの救世主!!」

～ AI活用の現場報告～

「医療DXの取り組みについて」

講師 福岡和白病院

講師 北九州市立八幡病院

講演Ⅱ「福岡県内査定の現状!!」

講師 福岡県社会保険診療報酬支払基金

## 4 参与のご意見

ア 一宮 仁氏(福岡県医師会蓮澤参与の代理)  
のご意見

- コロナ禍が明け、活動を再開されていますが、まだ参加者が少ないようです。病院協会の研修会は、非常に内容があつて素晴らしいものなので、ぜひ参加者を多く集める工夫をしていただき、運営資金の確保をしていただきたいと思います。

イ 大和 日美子参与(福岡県看護協会 会長)  
のご意見

- 看護師の人材確保が困難な要因の一つは、夜勤の問題です。このため、夜勤のシフトの組み方について、日本看護協会も本腰を入れて取り組み始めています。福岡県の病院でも、プロジェクトを組み、負担が少なく働きやすい勤務体制作りを考える時期に来ており、県看護協会でも検討を始めています。今の人はワークライフバランスでも、ライフの方が中心です。それを踏まえ、どのように働く体制を作っていくかということだと思います。

看護補助者の働きたがらない理由は、排泄や食事の介助、更衣等の直接介護業務にあります。患者に直接携わる仕事をしたくない人がたくさんいます。看護師と看護補助者がどう協働し、業務を分担していくかが大きな課題です。

この辺のテーマは、とても関心が高いテーマなので、病院協会の看護研修会においても、取りあげられることを検討していただければと思います。

ウ 後藤 涉参与(福岡県薬剤師会 副会長)  
のご意見

- 各研修会、興味深いテーマを取り上げていることに感動しました。県薬剤師会としては、DX化、電子処方箋の問題があります。全国的に進んでおらず、本県も同様ですが全国よりは少し進んでいる状況です。大病院ではこれからというところで、費用面も含めて急速に各病院準備を進めているところではないかと思っています。それを受け、薬剤師会としても、各薬局と準備を進めており、これから病院がきちんと電子処方箋を発行することが課題となりますので、ぜひ御協力をお願いします。

## エ 吉田 龍太郎氏（西日本シティ銀行井上参与の代理）のご意見

- 当行でも、合併20周年を迎え、サステナブルに関する研修を開きましたが、集客に苦労しました。コロナ禍後、WEB、オンライン研修の機会が増え、直接会場に足を運ぶより、オンラインの選択が増えているのでは考えています。

働き方では、働くことにいかに意義を持たせるかが大切で、一般企業においても、

従業員の満足度を経営の中核に捉えるところが多くなっています。数年後には、時給1500円以上に引き上げると国は言っています。離職率が高い、人が確保できなくなると、金銭面だけでなく、そこで働くことに意義を見出せるかが大事になってきます。

銀行としてお伝えできることがあると思いますし、皆様と色々お話をしながら進めていければと思っています。

## オ 中西 裕二参与（日本公認会計士協会北部九州会 公認会計士）のご意見

- 専門性が高い研修会を企画して実施されていると感じました。、すばらしいことだと思います。大変興味深く、いくつかの研修会についてはぜひ聞いてみたいと思いました。

公認会計士として監査に伺ったときに、医師や事務職員の方から、働き方改革の影響をどう解決するかで悩んでいることもあるし、厳しい診療報酬改定で経営が厳しくなっていることも聞いています。

医療機関は人の命を預かる場所なので、民間企業とは異なりますが、それでも業務の効率化を進めていく上で、民間企業のノウハウも勉強されながら取り入れたら面白いのかもしれない。直接業務に役に立たないが、何か役に立つかもしれないと思い幅広くテーマを見ていただければと思います。例えば、スループットの

概念や、バランストスコアカードなどを用い、自らの機能を検証してみることも企業では取り入れています。医療機関に取り入れられるかは別として、知識として知っているのと効率化を考えるきっかけにはなると思います。

## カ 鶴 加寿子参与（西日本新聞社報道センター編集委員）のご意見

- そろぞれの分野で時々の課題に合わせ、研修会を開催していることに感銘を受けました。私自身最近手術を受け、とても不安でしたが、一方で大丈夫だろうという気持ちもありました。やはり、日本の医療への安心感があるのだと身をもって感じたところです。こうした日本の医療の質の維持・向上を支えているのが、皆様方各病院であり、福岡県病院協会なのだと思っており、敬意を表したいと思います。

県民公開医療シンポジウムについては、横倉運営委員長に広報をしっかりと依頼されていましたが、紙面の扱いが小さく申し訳ありませんでした。WEBで出すや、地域版に載せたらよかったなと反省しています。

病院や病院協会の取り組みを紙面に載せることで、県民の安心感につながり、病気の学びにもつながります。今後とも、各病院、病院協会の協力を仰ぎながら紙面を作り、県民の医療への親しみを作っていきたいなと思っています。

- 最後に、壁村専務理事は、報告を行った正副委員長並びに適切で暖かい意見をいただいた参与に謝意を表しました。続けて、新たなテーマの在り方等意見をいただいたので、次年度に生かしていきたいと述べるとともに、収益が厳しいことも踏まえ、タイムリーで質の高い研修会を多くの方に提供できるよう工夫を依頼して、懇談会は終了しました。

# 謹賀新年

## 公益社団法人 福岡県病院協会 役員名簿

(役員任期：令和8年度定時会員総会終結時まで)

(令和7年1月1日現在)

役職名	氏名	所属病院及び役職
会長	中村 雅史	九州大学病院 病院長
副会長	野村 政壽	久留米大学病院 病院長
〃	田中 文啓	産業医科大学病院 病院長
〃	三浦 伸一郎	福岡大学病院 病院長
〃	平 祐二	医療法人原三信病院 理事長
専務理事	壁村 哲平	済生会二日市病院 院長
総務理事	岩 永知秋	久山療育園重症児者医療療育センター センター長
財務理事	伊東 裕幸	宗像医師会病院 病院長
企画理事	中房 祐司	福岡赤十字病院 院長
理事	岩崎 浩己	国立病院機構九州医療センター 院長
〃	大村 重成	医療法人緑心会福岡保養院 理事長・院長
〃	志波 直人	朝倉医師会病院 院長
〃	島 弘志	社会医療法人天神会 副理事長・総病院長
〃	谷口 修一	国家公務員共済組合連合会浜の町病院 病院長
〃	谷口 雅彦	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 病院長
〃	津留 英智	社会医療法人水光会宗像水光会総合病院 理事長
〃	中尾 一久	医療法人社団久英会高良台リハビリテーション病院 理事長
〃	松浦 弘	済生会福岡総合病院 院長
〃	本村 健太	飯塚病院 院長
〃	山下 博徳	国立病院機構小倉医療センター 院長
〃	横倉 義典	ヨコクラ病院 院長
〃	渡邊 憲太郎	医療法人西福岡病院 院長
監事	野村 秀幸	社会医療法人原土井病院 院長
〃	楠原 浩一	福岡市立病院機構福岡市立こども病院 院長
議長	岡嶋 泰一郎	社会保険仲原病院 顧問
副議長	樋口 雅則	福岡ハートネット病院 院長
顧問	今泉 暢登志	医療法人済世会河野病院 院長
〃	河野 正美	医療法人済世会河野病院 理事長
〃	瓦林 達比古	(一社)福岡県社会保険医療協会 理事長
〃	久保 千春	中村学園大学・中村学園短期大学部 学長
〃	石橋 達朗	九州大学 総長
〃	岡留 健一郎	済生会福岡医療福祉センター 総長
〃	上野 道雄	国立病院機構福岡東医療センター 名誉院長
〃	寺坂 禮治	令和健康科学大学 学長
〃	赤司 浩一	九州大学病院 第一内科教授
〃	一宮 仁	国家公務員共済組合連合会浜の町病院 顧問

## 地域の精神医療を支える 病院を目指して

医療法人光陽会  
理事長 前田 世絵良



令和5年3月1日付で医療法人光陽会の理事長に就任いたしました、前田世絵良と申します。

私は福岡県久留米市で生まれ、幼児期に父の留学でドイツに暮らしていた時期を除いては、大学卒業まで久留米で過ごしていました。久留米大学卒業後は九州医療センターで初期研修を行いました。学生の頃から脳という臓器の不思議さを魅力に感じており、初期研修を通して精神医学や脳神経疾患へ更に興味が強くなりました。初期研修終了後は九州大学第二内科脳循環研究室に入局・入研し、九州医療センター、福岡東医療センターで脳卒中急性期治療、神経疾患診療に従事しました。脳血管神経内科医として5年勤務した後、九州大学精神病態医学に入局いたしました。両教室の教授、医局長、主任の先生方には大変お世話になり、深く感謝しております。入局後は九州大病院や医局の関連病院で精神科医師としての研修を積みました。令和2年4月より当院で勤務し、令和5年3月に父である先代理事長の後任として私が就任いたしました。

当法人は、伊都の丘病院と、訪問看護ステーションで構成されています。福岡市西区の九大学研都市駅近くに立地しています。祖父がこの地に当院

を開設した当初は、周囲は田畑や更地ばかりの土地でしたが、この10年で周囲の環境は大きく変わりました。九州大学伊都キャンパスの移転と共に、九大学研都市駅を中心に当院の近隣まで、住宅や店舗が次々と建設され、幅広い年代の方が住む土地となりました。同時に外来診療においては、若い世代を中心に、発達障害や気分障害の患者さんが増えてまいりました。一方で、社会の高齢化に伴い認知症患者さんも増えており、患者さんの年齢や疾患の幅が非常に広がってきたと感じています。また、精神科医療を必要とする方々も時代と共に増えています。理事長就任後は、臨床業務に加えて運営に割く時間が増えました。患者層の変化に合わせ、当医療法人は社会からどのようなことを求められているのかと日々考えています。患者さんや職員にとって、より良い法人・病院にするべく、計画し行動することに非常にやりがいを感じます。厳しい医療情勢が続く今日ですが、地域や社会に求められる精神科医療の一端を担えるよう、職員一丸となって尽力いたします。

今後とも引き続きご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

## その人が望む生活行為をもとめて

医療法人祥風会 甘木病院

作業療法室主任 松葉 幸典

超高齢化社会が始まる 2025 年が目前に迫る中、今回の診療報酬改定を見て、早急な地域包括ケアシステムの構築と、その中で作業療法士が地域共生社会に積極的に参画する必要があると感じました。精神科作業療法においても、少子高齢化の進行や疾病構造の変化により、集団での活動運営の難しさを日々実感しています。これまでは主に統合失調症を患っている方が中心でしたが、最近では認知症、気分障害、発達障害を持つ方が増加しており、その変化に応じたりハビリテーションの提供が強く求められています。

作業療法士の業務範囲は多岐にわたります。急性期医療から回復期、介護への継続的な地域生活定着支援、予防的視点による生活支援、職業や教育の機会、ライフステージに応じた社会生活への適応など、対象者一人ひとりの暮らしの背景に対応する必要があります。そのため、領域を問わず「その人が望む生活行為」の具体的な支援を、他職種と協働で行い、各診療科や介護領域とのシームレスな連携強化に努める必要があると思います。

当院での作業療法活動の内容や取り組みを少しご紹介します。最近のコロナの状況にはまだ不安が残りますが、以前から人気のあったカラオケや調理活動、飲食を伴う季節行事が再開されています。対象者からも、「久しぶりのカラオケに緊張するね」、「楽しみにしていた」と笑顔で話される場面もあります。また、今年の夏祭りでは、屋台や的あてゲーム、ヨーヨー釣りゲームなどを行いました。最後にはスタッフも一緒に円になり盆踊りを楽しみました。「久しぶりだから踊りを忘れたよ」、「夏はこの曲ばい」などの声が聞かれ、盛

り上がりました。当日の提灯、紅白幕などの飾り物、太鼓の音、盆踊りの音色、そしてたくさんの笑い声など、以前は普通に感じていた様々な感覚が、こんなにも懐かしく、作業療法士として感慨深いものでした。コロナ禍で何を学び、今後どう活かしていく必要があるのかを考えさせられます。振り返ってみるとキッチンペーパーでのマスク作り、黙食・個食の推奨、忘年会の中止などがありました。手洗いなどの衛生意識の向上やオンラインでの作品展実施など、新しい様式の作業療法活動の提供に気づくことができました。

私の考える作業療法は、対象者の見えない心を「作業」という様々な活動を通じて映し出し、その場面を具体化し、言語化しにくい心の声を感じ取っていくことです。そして、それを治療に反映させることがより良い支援を発展させる鍵になると考えています。現代社会の流れは急速で大きく、人間についての価値観も変わってきています。作業療法という場がどのような場であるべきかを適時 PDCA サイクルを回しながら再考する必要があると思います。

最後に、後進育成の立場として日頃から大事にしている言葉を紹介して終わりたいと思います。それは、山本五十六氏の「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。」です。良い人材を育てるためには、しっかりと褒め、話をよく聞き、信頼して任せることが必要だという教育の核心を突いた考えが伺えます。この言葉は現在の教育や経営にも大きな影響を与えていると思います。

## ヘビ、蛇、巳、そしてギリシャ神話

国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔 元 則  
学校法人原学園原看護専門学校 顧問

### ヘビ (Snake)

新年号の Letter はその年の干支に関する話題を取り上げるのを恒例としているので、本年も先ずヘビの話から始めさせていただきたい。

ヘビ (学名 Serpentes) は脊索動物門、爬虫綱、有鱗目、ヘビ亜目に分類される動物で、南極大陸と極地を除く全世界に広く分布している。大きなものでは全長 10m にも及ぶアミニシキヘビから、小さなものでは 10cm 程度のメクラヘビまで多様であり、地球上には約 3000 種類のヘビが存在すると言われている。その約 25% が毒を持つ所謂毒ヘビで、毒ヘビの中で最大のものは全長約 5m のキングコブラである。

進化論的には 1 億 4500 万年から 1 億年前の白亜紀前期に、有鱗目のトカゲ亜目から進化した動物と考えられているが、祖先が水生 (海中に棲息していた) か陸生・地中生であったかについては未だ結論が出ていない模様である。

四肢に関しては、生まれる前の胚の段階で 2 本の脚の原基が確認されているし、初期のヘビ類であるバキラキスに後肢があったということも確認されているので、進化に伴って四肢が自然に退化していったものと考えられる。

解剖学的特徴としては、体型に合わせて内蔵全体 (心、肺、消化管等ちゃんと存在する) が細長く配列されており、2 つの肺のうち左肺は退化して極く小さなものになっている。目は全体が 1 枚の透明な鱗に覆われているので、瞬きをする必要はないが、視力は弱い。舌に匂 (臭) いの分子を吸着させて、口中にあるヤコブソン器官で匂いを確認するため、舌をチョロチョロと出し入れする動作が特徴的である。舌先が 2 枚に分かれている

(二枚舌) ことは、皆様よく御存知のことであろう。

毒ヘビでは上顎にある 2 本の毒牙の根元に毒腺があり、噛みついた獲物に毒液を注入して仮死状態に陥れる。毒牙から毒液を噴射する種類の毒ヘビも存在し、クロクビコブラは 2m 先の獲物に毒液を噴射して捕食するということである。

食性は動物食で、小さなヘビは蛙や鼠、大きなヘビでは兎や鹿、鰐なども捕食するということがある。動いているもの以外は捕食しないという習性があるので、蛙がヘビに遭遇すると動きを止めるのは理に適った捕食回避行動なのだそう。「蛇に睨まれた蛙」という表現は単なる言葉の綾ではないのである。

1~2 ヶ月に 1 回の頻度で脱皮するという行動もヘビに特徴的である。脱皮は暑い時期により頻回に行われるということである。そのほか、ヘビの行動形態で特徴的なのがとぐろを巻くという行動であるが、この姿勢は弱い腹部を守り、頭を持ち上げて高い位置から周囲に眼を配って警戒するという防御のための姿勢ということである (出典は主としてウィキペディアによる)。

### 蛇と人間社会

白川静著の常用字解によると、蛇のもともとの字は它で、頭が大きなヘビの形を示しているのだそう。しかし它だけでは他と混同されるので、後に虫 (爬虫類の虫) を加えて、蛇という形声文字が作られたということである。

ヘビの脱皮という習性からは「死からの再生」が連想され、また恒温動物ではないため 1 週間以上何も食べなくても平気ということもあって、ヘビは強大な生命力の象徴とされてきた歴史がある。古代エジプトの歴代ファラオは、王権と神性



の象徴として蛇形記章を王冠に戴いている。ツタンカーメン王のマスクの額のところにも蛇形記章が彫刻されているので、今後マスクを見る機会があれば注意して観察していただきたい。

古代の日本においても、ヘビは大事な主食である米を喰い荒らす鼠を捕食することから、穀物神として崇められる風習が生まれている。縄文土器の中には、取っ手に蛇の図柄があらわれているものも出土しているようだが、縄文時代はまだ狩猟採集時代であるから穀物の備蓄はされていなかったと思うので、その由来はよく判らない。

「蛇は足が出ない→お金銭が出ない→お金が出ていかない」という語呂合わせから、「財布の中に蛇の脱け殻を入れておくとお金が貯まる」という風習も生まれている。私はこのような風習はもうすっかり<sup>すた</sup>廃れてしまったものと思っていたが、意外なことに現在でもネット市場では蛇の脱け殻を模した様々なグッズが販売されているようである。

しかしその反面、キリスト教やユダヤ教、イスラム教の世界では、「蛇は悪魔の化身である」という考えが広く深く浸透している。旧約聖書創世記の「アダムとイブの物語」に登場する蛇の話は皆様もよく御存知のことであろう。

私達が日頃よく使用している蛇という文字を使った熟語でも、蛇は否定的な意味で使用されている場合が多い。「蛇足」「蛇蠍<sup>だかつ</sup>の如く忌み嫌う」「竜頭蛇尾<sup>やぶへび</sup>」「藪蛇<sup>じゃ</sup>」「蛇の道は蛇<sup>へび</sup>」など例を挙げ始めるときりが無い。

「動物と人間社会」という観点から考えると、これ程二面性に富む動物は蛇以外には存在しないかも知れない。

## 己巳己巳己巳 (君恋し)

今年の干支は乙巳である。巳という字も它と同様に蛇の形を示しており、起という字(もとの字は「起」の己の部分<sup>きのとみ</sup>が巳となっていた)は蛇が頭をもたげて進む姿を示しているのだそう。その蛇の姿が、人が立ち上がり走り始める時の姿に似ているので、起という字に「おきる」「ことをはじめる」「おこす」という意味がつけられたということである(常用字解)。

祭祀<sup>さいし</sup>の祀という字に巳が使用されているのも蛇を信仰の対象として考える風習に基づいているようである。お正月の鏡餅の飾りは白蛇がとぐろを巻いた形を模したものだという説もある。巳年の今年は、「再生を繰り返しながら前進していく年」と表現するのが適切ではないだろうか。

支持率の低迷に喘ぐ石破茂首相も、今年こそ再生・前進して行って欲しいと考えている。巳年であるからと言って「二枚舌」は許されないけれど…。

「巳」という漢字は「み」の他に「し」とも読むが、己という字と巳という字もあるので大変ややこしい。己は「おのれ」「こ」「き」「つちのと」と読み、巳には「すでに」「やむ」「のみ」「い」といういろいろな読み方がある。アルファベットのLに似た部分の縦棒がどこまで伸びているのかということだけで、別の意味になってしまう。

中学生の頃、爪と瓜という漢字の違いを覚えるために「爪に爪なく、瓜に爪あり」という語呂合わせを習ったことを思い出した。己、己、巳の読み違いを覚えるために「巳は上に、己<sup>おのれ</sup>つちのと下につき、巳<sup>すでに</sup>やむの巳は半ば」という語呂合わせもあるということである。さらには己己巳巳己巳という四文字熟語もあり「いこみき」と読んで相互に似ているものを表現する熟語ということである。「いこみき」では何とも味気ない。己巳己巳己巳(君恋し)ではどうであろう。12年前の西日本新聞正月号の春秋欄からの引用である。

## 杖<sup>から</sup>に絡みつく蛇

蛇という動物はその姿かたちの不気味さもあって、「嫌われ者の代表選手」と表現しても過言ではないかと思うが、ギリシャ神話の世界ではシンボリックな動物という一面も持っている。このことは一般にはあまり知られていないように思うので、以下にギリシャ神話に登場する蛇について御紹介したい。

ギリシャ神話の医術の神様がアスクレピオス(Asklépios)であることは、医療関係者は御存知かと思うが、この医術の神様アスクレピオスのアトリビュート(古代西洋芸術において、神や人

物の特徴を表す持ち物や特徴的な要素)は蛇が絡みついている杖である(図1)。このアスクレピオスの杖に絡みついた蛇は、生命力と権威の象徴であり、死者を蘇よみがえらせる超自然的な力を暗示しているのだそうだ。アスクレピオスの杖は医の象徴としてWHO(世界保健機構)のシンボルマークにも使用されている(図2)。



図1 アスクレピオス像



図2 WHO(世界保健機構)のシンボルマーク

アスクレピオスについて語り始めれば、興味あるエピソード(烏からすの羽は何故黒い等々)がたくさんあり、限られた紙面では到底語りつくせるものではない。御興味ある方は、福岡県医報令和元年10月号に掲載されている畏友木村専太郎クリニック理事長の筆になる「アスクレピオス、ギリ

シャ神話の医学の神、日本医師会ロゴマークの蛇の由来」と題する一文を是非お読みいただきたい。白水社から「医神アスクレピオス」という172頁に及ぶ単行本も刊行されているが、こちらは詳しすぎて難解であり、完読するにはエネルギーを要する。

蛇が絡みつく杖としては、オリンポス12神の1人(神)であるヘルメス(Hermés、商業の神様として有名で、この名前を冠した高級商店もある)が持つ杖も有名である。ヘルメスは、2匹の蛇が絡みつき先端には翼がデザインされたカドウケウス(ケーリュケイオン)という名前まである杖(図3右)を携帯して各地を飛び回りゼウスの命令を伝えるという伝令役も務めていた。カドウケウスとは「聖なる命令を伝える者が携える呪力を持った杖」という意味なのだそうだ。デザイン的にも優れているので、商業や交通業者、商業学校の紋章(一橋大学校章、図4が有名)によく応用されている。

アスクレピオスの杖とヘルメスの杖は全く別物なのであるが、どちらも蛇が絡みついているため(アスクレピオスの杖には1匹、ヘルメスの杖には2匹)、両者が混同されているのが散見される。欧米の軍隊の医学部隊の紋章には2匹の蛇が絡みついた杖がデザインされているが(どこにでもすぐに駆け付けて治療するという意味を込めていると説明されている)、ことの発端はアスクレピオスの杖とヘルメスの杖を取り間違えたことに由来するのではないかと私は勝手に邪推している。



図3 アスクレピオスの杖(左)ヘルメスの杖(右)



図4 一橋大学の校章

## ヒュギエイアの杯<sup>さかずき</sup>

薬学のシンボルとして欧米で一般的なのが「ヒュギエイアの杯」と称される蛇が絡みついた杯である。ヒュギエイア (Hygieia) はアスクレピオスの娘で、アスクレピオス信仰が広がるにつれ、その娘であるヒュギエイアに対する信仰も強くなった。彼女のアトリビュートは蛇が絡みついた杯である (図5)。薬 (薬酒?) が入れられていると考えられ、薬学のシンボルとして欧米の薬局では広く用いられている (図6)。



図5 ヒュギエイア像



図6 欧米の薬局のシンボルマーク

## メドゥーサの頭

上述のようにギリシャ神話に登場する蛇はその多くが神聖な動物として語られているが、唯一違うのがメドゥーサの物語である。蛇の髪を持つメドゥーサ (Medousa) の物語は、ペルセウス英雄伝と相俟<sup>あいま</sup>って、数多くあるギリシャ神話の中でも大きな部分を占めているので皆様もよく御存知のことと思うが以下に簡単に要約させていただく。

メドゥーサはゴルゴン3姉妹の末の妹であるが、美しい髪が自慢の美少女であった。彼女は海

の神ポセイドンの愛人となり、こともあろうに処女神アテナの神殿で密通してしまった (アテナより自分の方が美しいと自慢したという説もある)。このため怒ったアテナによって髪を蛇に変えられてしまったのである。そしてこの蛇の髪を持つメドゥーサの頭 (図7) を見たものは即座に石になってしまうのである。メドゥーサはギリシャ神話に登場する有名な英雄の1人であるペルセウスによって退治されてしまうのだが、メドゥーサの頭にまつわる話は数多く、これまた限られた紙面では語り尽くせるものではない。



図7 メドゥーサの頭

Caput medusae (メドゥーサの頭という意味のラテン語) という医学用語もある。これは肝硬変症等の疾患で門脈血流障害が発生した場合に、臍を中心として腹壁皮下静脈が拡張、蛇行し、まるでメドゥーサの頭と表現しても良いような症状を呈すること (図8) を指す言葉である。



図8 門脈圧亢進症による腹壁皮下静脈の拡張

私は九大第二外科教室では門脈圧亢進症グループに所属していたので、大学医局員時代に書いた私の医学論文にはこの医学用語が度々登場する。メドゥーサという怪物は私にとっては大変近い存在なのである。

## 人体旅行記 乳房（その二十五）

国立病院機構都城医療センター 院長 吉住 秀之

人の記憶は一般に3歳半以降のことが想起可能といわれている<sup>1)</sup>ので、慈愛に溢れた母乳で育てられたという記憶を思い出して悦楽に浸るということはできないでしょう。しかし想起不可能な悦楽だからこそ欲望するということはありえます。ましてこれが聖母マリアの母乳であれば、信仰篤い人は一生に一度は口にしたいと切に願うことでしょう。

西洋絵画にはこれをモチーフにした絵が残されており、代表的な作品としてスペインのグラナダ出身の画家アロンソ・カーノ（1601～1667）の『聖ベルナルドゥスの幻視』（1650年頃）<sup>2)</sup>という絵があります。この幻視体験を描いた構図では、画面右下に位置する聖ベルナルドゥスが、左上に掲げてある聖母像を前にして祈っているときに、突如その聖母像の乳房から乳汁がほとぼしり、口に入っています。左手で幼子キリストを抱きかかえる聖母が右手で乳房をつまむと母乳が勢いよく射出し、右下斜め45度の角度でほぼ直線的軌道を描いて見事に彼の口に入射しています。乳汁というより光線の軌道ですね。

同じくスペインで活躍したファン・デ・ロエラス（1570～1625）の手による同名の作品（1611）では、聖母はなんと雲の上から聖ベルナルドゥスめがけて母乳を飛ばしています。スペインではこのモチーフは

人気があったようで、ムリーリョ（1617～1682）の『聖母の聖ベルナルドゥスへの顕現』（1655）でも同じ場面が描かれています。急いでつけ加えておくと、15世紀にイタリアで描かれたフィリッピーノ・リッピ（1457～1504）やペルジーノ（1446～1523）の同じモチーフの絵画では聖母はまだ胸を露わにせず描かれており、時代が下がりバロック期になって幻視の場面描写がより劇的に表現されるようになっていきます。こういう題材で学ぶとルネサンス美術とバロック美術との違いがしっかりと頭に入ります（勉強のコツです）。

聖ベルナルドゥスは聖母を讃える著作を一心不乱に執筆しているときに、この幻視を体験したとされていますが、彼が味わった母乳は、忘れられない「幻の味」だったことでしょう。神経学的研究によれば味覚認知によって右側頭葉と前頭眼窩野の境界部位領域が賦活されることが報告されています。外側前頭前野付近では、視覚刺激を行った後に味覚刺激をした場合、味覚刺激に無関係な視覚刺激では賦活は起こりませんが、関係のある視覚刺激では賦活が生じること<sup>3)</sup>から、この部位では味覚刺激を期待し神経細胞が活動していると推測されます。ベルナルドゥスは、幻視と幻味という二つの感覚についての幻覚を経

験しているのです、おそらく連合野における異常興奮がその原因ではないでしょうか。聖母の乳房という視覚刺激の後に、母乳が彼の口

に注がれた瞬間、彼の外側前頭前野付近では振り切れるくらいに神経細胞が発火していたことでしょう。

- 1) 時と場所を特定できるいわゆる自伝的記憶は海馬の成熟に依存しており、これが可能となる時期については議論があります (Donato F et al., (2021) The ontogeny of hippocampus-dependent memories, J Neurosci 41: 920-926.)。三島由紀夫の私小説『仮面の告白』の冒頭には、「永いあいだ、私は自分が生まれたときの光景を見たことがあると言い張っていた」とあり、最近成熟前の海馬であっても長期の

記憶が形成されうるという議論もあることを考えると、あながち荒唐無稽なものではないかもしれません。

- 2) [https://es.m.wikipedia.org/wiki/Archivo:Alonso\\_Cano-The\\_Vision\\_of\\_St\\_Bernard-WGA4005.jpg](https://es.m.wikipedia.org/wiki/Archivo:Alonso_Cano-The_Vision_of_St_Bernard-WGA4005.jpg)  
 3) Kringelbach ML et al. (2004) Taste-related activity in the human dorsolateral prefrontal cortex, Neuroimage 21: 781-788.

## 医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

サービス内容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房機器等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想～開業後の施設経営まで九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

# 有限会社 DMS

(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F  
 TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F  
 TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632

## ◎ 令和6年度 第8回理事会

日 時 11月12日（火）午後4時〈協会会議室〉

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
  - (1) 会員異動について
  - (2) 研修会について
  - (3) 地域医療構想について
  - (4) 次期診療報酬改定に関する要望事項について
  - (5) その他
3. 報告事項
  - (1) 私設病院協会 (2) 看護学校 (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病・日慢協・日医法人協、他連絡
  - (5) その他

## ◎ 事務長会運営委員会

日 時 11月21日（木）午後3時〈協会会議室〉

1. 協議事項
  - (1) 業務委託（外注）業者の見直しや検討の状況について
  - (2) 委託業者への対応（委託金額の適正化を含む）について
  - (3) 業務委託を含む業務の効率化について
  - (4) 病床利用率向上に向けた取り組みについて
2. 報告事項

## ◎ 11月研修会〈参加者数 110名〉

日 時 11月29日（金）午後3時

場 所 天神ビル11階 10号会議室

演 題 「悩める ACP の道しるべ  
～ ACP の理解から推進まで～」

講 師 大阪はびきの医療センター  
呼吸ケアセンター 副センター長  
慢性疾患看護専門看護師 竹川 幸恵 氏

## ◎ 看護部長会運営委員会

日 時 12月6日（金）午後3時〈協会会議室〉

## 1. 協議事項

- (1) 11月研修会の振り返りについて
- (2) プラチナナースの活躍について
- (3) 認定看護師、特定医療行為看護師育成（研修費用）について
- (4) 医師の働き方改革に特定行為の看護師の役割が重要となってくるが、活用出来ていない現状について
- (5) 他職種とのタスク・シフト/シェアの状況（人材活用の実際）
- (6) 厚生局における適時調査対策について

## 2. 報告事項

## ◎ 広報委員会

日 時 12月10日（火）午後3時45分〈協会事務室〉

議 題

1. 福私病ニュースの編集について
2. その他

## ◎ 令和6年度 第9回理事会

日 時 12月10日（火）午後4時〈協会会議室〉

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
  - (1) 会員異動について
  - (2) 研修会について
  - (3) 地域医療構想について
  - (4) 次期診療報酬改定に関する要望事項について
  - (5) 地域医療介護総合確保基金の活用について
  - (6) 民間病院への緊急財政支援についての県への要望案について
  - (7) その他
3. 報告事項
  - (1) 私設病院協会 (2) 看護学校 (3) 医療関連協業組合 (4) 全日病・日慢協・日医法人協、他連絡
  - (5) その他

## 第94回 理事会報告

日時 令和6年12月3日(火)16:30~16:57

場所 オリエンタルホテル福岡  
博多ステーション3F 山笠

出席者(敬称略)

会長 中村  
副会長 野村、三浦、平  
理事 壁村専務理事、岩永総務理事、伊東財務理事、中房企画理事、岩崎、大村、志波、谷口(修)、谷口(雅)、津留、中尾、松浦、本村、山下、渡邊

計19名(理事総数22名)

監事 野村、楠原  
議長 岡嶋  
副議長 樋口  
顧問 今泉、河野、一宮

### I 行政等からの通知文書

壁村専務理事から、特に報告等を要するものはないとの報告があった。

### II 公益目的事業関係

#### 1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

##### 【開催結果】

ア 第1回臨床検査委員会  
谷口雅彦担当理事から、報告があった。  
日時 令和6年10月1日(火)16:30  
場所 TKP博多駅ビジネスセンター301(3F)  
議題 1. 担当理事、委員の交代について  
2. 第9回臨床検査研修会の開催について

イ 第20回リハビリテーション研修会  
中尾担当理事から、報告があった。  
日時 令和6年10月5日(土)  
12:20~16:00

場所 九州大学医学部百年講堂  
参加者 88名(会員79名、会員外9名)

##### ○基調講演

「脳卒中急性期治療、薬物療法、リハビリテーションと脳卒中相談窓口について」

講師 国立病院機構九州医療センター副院長  
日本脳卒中協会福岡県支部長

岡田 靖

座長 医療法人共和会小倉リハビリテーション病院 院長 梅津祐一

##### ○シンポジウム

「脳卒中急性期から生活期までのリハビリテーションと就労・生活支援を含む医療連携」

座長 国立病院機構福岡東医療センター  
病院長 中根 博

(1) 「脳卒中治療ガイドラインと回復期リハビリテーションの最新事情」

誠愛リハビリテーション病院 リハビリテーション科部長 鍵山智子

(2) 「急性期病院での摂食嚥下障害患者への介入のあり方について ~早期経口摂取に向けた体制整備と対応の統一化に向けて~」

国立病院機構福岡東医療センター

リハビリテーション科 言語聴覚士

佐藤文保

(3) 「脳卒中の回復期リハビリテーションと就労支援の取り組み」

福岡リハビリテーション病院

リハビリテーション部 作業療法士主任

山田達己

(4) 「脳卒中生活期のリハビリテーション」

医療法人共和会小倉リハビリテーション病院 地域リハビリテーション部

理学療法士 小川 彰

##### ウ 第72回栄養管理研修会

岩永担当理事から、報告があった。

配信期間・時間

セミナー配信

令和6年10月19日(土)8:55~13:50

オンデマンド配信

令和6年10月20日(日)~10月26日(土)

参加者 85名(会員78名、会員外7名)

テーマ 「栄養管理における最新トピックス」

講演I 「令和6年度診療報酬改定における栄養管理体制について ~GLIM

基準の応用について~」

産業医科大学若松病院

栄養管理室主任 鈴木達郎 先生  
 講演Ⅱ 「『口腔ケア』と『摂食嚥下』と『低栄養』の密な関係  
 公立八女総合病院 歯科口腔外科  
 医師 大部一成 先生

講演Ⅲ 「肥満糖尿病の栄養管理 ～肥満症治療新時代における栄養マネジメントの重要性～」  
 九州大学病院 内分泌代謝・糖尿病内科（病態制御内科/第三内科）  
 助教 武市幸奈 先生

エ 第1回診療情報管理研究委員会

岩崎担当理事から、報告があった。

日 時 令和6年10月23日(木)16:00～

会 場 WEB開催

- 議 題
1. 担当理事・委員について
  2. 令和6年度研修計画について
  3. 第65回診療情報管理研究研修会の開催について
  4. グループワーク研修会の開催について

第2回リハビリテーション委員会 (R6.11.26(火))

について、中尾担当理事から、報告があった。

【開催予定】

ア 第9回臨床検査研修会

谷口雅彦担当理事から、説明があった。

日 時 令和7年1月25日(土)

13:25～16:30

会 場 浜の町病院 3階研修講堂

開催形式 ハイブリッド開催

テーマ 「災害、高齢化、そして働き方改革～臨床検査の新たな挑戦と求められる対応を考える～」

講演1 災害時医療の役割 ～災害、テロ等含む～

講師 久留米大学病院 災害・危機管理担当 教授 山下典雄

講演2 骨粗鬆症の予防、診断、治療～多職種連携と地域連携の重要性～

講師 産業医科大学整形外科学教室  
 講師 塚本 学

講演3 タスク・シフト/シェアについて～静脈路の確保～

① タスク・シフト/シェアへの取り組み～採血業務における静脈路確保～

福岡大学西新病院 臨床検査部臨床検査技師 岡崎敏子

② 末梢静脈血管へのアクセス

日本ベクトン・ディッキンソン(株)  
 MDS 事業部

Clinical Specialist・がん化学療法看護認定看護師 岩本寿美代

※ 研修会終了後：会場にてトレーニング器具を使用しての体験(希望者、17:00まで)

イ 第9回病院研修会

壁村委員長から、説明があった。

日 時 令和7年3月4日(火)

18:00～20:15(受付開始17:30～)

場 所 九州大学医学部百年講堂1F  
 大ホール

テーマ 「医療従事者の人材確保～現状と課題そして対策～」

総合同会 公益社団法人福岡県病院協会  
 専務理事 壁村哲平

I 基調報告

(1) 「福岡県の医師・看護職員の確保策について」 18:00～18:25

講師 福岡県保健医療介護部 医療指導課医師・看護職員確保対策室長 甲斐庸恭<sup>つねやす</sup>

座長 公益社団法人福岡県病院協会  
 専務理事 壁村哲平

(2) 「薬剤師、MSW等医療関係職種の現状と課題」 18:25～18:35

公益社団法人福岡県病院協会  
 専務理事 壁村哲平

II シンポジウム

「病院における先進的な取組の紹介」

18:45～20:10

(1) 「医師だけにしかできない仕事に専念できる環境作り～当院における診療看護師(NP)の活躍～」

社会医療法人財団白十字会白十字病院  
 病院長 瀧野泰秀

(2) 「特定行為看護室設置に至った背景とその成果」



- 済生会福岡総合病院 副看護部長/特定行為看護師 三山麻弓
- (3) 「“病棟医/病院総合医”の育成と活用をめざして」  
福岡県済生会二日市病院  
副院長 門上俊明
- (4) 「救急領域における病院救命士の有効活用について」  
北九市立八幡病院  
名誉院長 伊藤重彦  
〔質疑応答〕  
座長 地域医療機能推進機構 (JCHO)  
九州病院 院長 内山明彦  
済生会福岡総合病院  
看護部長 大嶋由紀

### Ⅲ 収益目的事業、法人関係

#### 1 報告事項

##### (1) 各種委員会・研修会関係

##### 【開催結果】

- ア 第1回医療事務委員会  
伊東担当理事から、説明があった。  
日時 令和6年10月4日(金)17:00  
場所 アーバンネット博多ビル4F  
第1会議室  
議題 1. 担当理事、委員の交代について  
2. 第124回医療事務研究会の開催について
- イ 第1回経営管理委員会  
津留担当理事から、報告があった。  
日時 令和6年10月7日(月)14:00~  
場所 済生会福岡総合病院 14F 会議室  
議題 1. 担当理事、委員の交代について  
2. 令和6年度経営管理研究会の開催について
- ウ ほすぴたる編集委員会  
岡嶋編集委員長から、報告があった。  
日時 令和6年11月12日(火)17:45~  
場所 福岡県医師会館 2F 事務局  
及びWEB参加  
議題 1. 11月号の現況について  
2. 1月号の編集計画について  
3. 令和7年年賀広告の掲載について

##### 【開催予定】

- ア 令和6年度第1回経営管理研究会  
津留担当理事から、説明があった。  
日時 令和7年2月17日(月)  
13:55~16:00  
会場 九州大学医学部百年講堂 大ホール  
座長 社会医療法人水光会宗像水光会総合病院 理事長 津留英智  
講演1 「新しい地域医療の構想」  
講師 産業医科大学医学部公衆衛生学  
教授 松田 晋哉  
講演2 「診療報酬改定を受けての病院経営」  
講師 社会医療法人天神会  
総病院長 島 弘志

##### (2) 第93回理事会議事録について

壁村専務理事から、3名の議事録署名人の了承をもらっているとの説明があり、了承された。

##### (3) 9,10月収支報告について

伊東財務理事から、報告があった。

##### (4) 会長及び業務執行理事の活動状況について

壁村専務理事から、報告があった。

##### (5) 会員の変更について

壁村専務理事から、報告があった。

地方独立行政法人くらて病院(鞍手郡鞍手町)  
田中宏明<sup>たなかひろあき</sup> 前病院長 → 安部治彦<sup>あべはるひこ</sup> 病院長  
医療法人松風会内藤病院(久留米市)  
内藤壽則<sup>ないとうひさのり</sup> 前理事長 → 内藤雅康<sup>ないとうまさやす</sup> 理事長  
社会福祉法人恩賜財団済生会福岡県済生会  
飯塚嘉穂病院(飯塚市)  
迫康博<sup>さこ やすひろ</sup> 前病院長 → 関口直孝<sup>せきぐちなおたか</sup> 病院長  
医療法人せいわ会みなかぜ病院(糸島市)  
堤淳<sup>つみ じゅん</sup> 前院長 → 梶谷康介<sup>かじたに</sup> 院長  
医療法人八木厚生会八木病院(福岡市東区)  
山口智太郎<sup>やまぐちともたろう</sup> 前院長 → 原田洋<sup>はらだ ひろし</sup> 院長  
療法人翠甲会甲斐病院(柳川市)  
島田洋<sup>しまだ</sup> 前院長 → 辻丸秀策<sup>つじまる</sup> 院長

#### 2 協議事項

- (1) ネミ倉庫(株)との油症治療費の支払いに関する

契約について

更新契約を締結し壁村専務理事から、同社からの願い出について説明が行われ、契約更新を行うことが承認された。

3 行事予定

壁村専務理事から、説明があった。

(1) 令和6年12月

ア 五役会

日 時 令和6年12月10日(火)18:00~  
場 所 福岡県医師会館事務局

(2) 令和7年1月

ア ほすびたる編集委員会・五役会

日 時 令和7年1月14日(火)  
① 17:45~ほすびたる編集委員会  
② 18:00~五役会

場 所 福岡県医師会館事務局(ほすびたる編集委員会はハイブリット)

イ 令和6年度診療情報管理研究研修会グループワーク

日 時 令和7年1月21日(火)  
14:00~17:00

場 所 九州大学医学部百年講堂

ウ 第28回四県病院協会連絡協議会(岡山、広島、山口、福岡)\*当協会主催

日 時 令和7年1月24日(金)15:00~

場 所 ANAクラウンプラザホテル

\*終了後懇親会開催

※12月下旬に開催案内を送付予定

エ 第9回臨床検査研修会

日 時 令和7年1月25日(土)  
13:25~16:30

会 場 浜の町病院 3F 研修講堂

開催形式 ハイブリッド開催

(3) 令和7年2月

ア 五役会

日 時 令和7年2月12日(水)18:00~  
場 所 福岡県医師会館事務局

イ 令和6年度第1回経営管理研究会

日 時 令和7年2月17日(月)

13:55~16:00

会 場 九州大学医学部百年講堂大ホール  
ウ 第2回看護委員会

日 時 令和7年2月20日(木)16:00~

会 場 ナースプラザ福岡 2F 204会議室

エ 第95回理事会

日 時 令和7年2月25日(火)16:00~

場 所 福岡県医師会館 6F 研修室3

(4) 令和7年3月

ア 第9回病院研修会

日 時 令和7年3月4日(火)  
17:55~20:15

会 場 九州大学医学部百年講堂 大ホール

イ 第65回診療情報管理研究研修会

日 時 令和7年3月10日(月)

12:20~17:00

会 場 九州大学医学部百年講堂

ウ ほすびたる編集委員会・五役会

日 時 令和7年3月11日(火)

① 17:45~ほすびたる編集委員会

② 18:00~五役会

場 所 福岡県医師会館事務局(ほすびたる編集委員会はハイブリット)

エ 第124回医療事務研究会

日 時 令和7年3月14日(金)13:30~

会 場 九州大学医学部百年講堂

オ 第21回リハビリテーション研修会

日 時 令和7年3月15日(土)

13:20~16:00

会 場 ナースプラザ福岡

カ 第172回看護研修会(認知症看護実践力向上研修)延期分

日 時 令和7年3月17日(月)9:20~

令和7年3月18日(火)9:30~

会 場 九州大学医学部百年講堂

キ 第96回理事会・臨時会員総会

日 時 令和7年3月25日(火)

① 16:30~理事会

② 17:00~臨時会員総会

場 所 福岡県中小企業振興センター  
501号室

明けまして  
おめでとう  
ございます。



2025年

掲載は受付順にさせていただきました。



九州大学病院  
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 中村雅史

〒 812-8582  
福岡市東区馬出3丁目1番1号  
電話 (092)641-1151 FAX (092)642-5008  
URL <https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>



福岡大学病院  
Fukuoka University Hospital

病院長 三浦伸一郎

〒 810-0180  
福岡市城南区七隈七丁目45番1号  
電話 (092)801-1011 FAX (092)862-8200  
URL <https://www.hop.fukuoka-u.ac.jp>



産業医科大学病院  
Hospital of the University of Occupational and Environmental Health, Japan

病院長 田中文啓

〒 807-8556  
北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号  
電話 (093)603-1611(代) FAX (093)691-8892  
URL <https://www.uoeh-u.ac.jp/hospital.html>



久留米大学病院  
KURUME UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 野村政壽

〒 830-0011  
久留米市旭町67番地  
電話 (0942)35-3311 FAX (0942)32-6278  
URL <https://www.hosp.kurume-u.ac.jp>  
E-mail [kanrika@kurume-u.ac.jp](mailto:kanrika@kurume-u.ac.jp)

医療法人 **原三信病院**  
Harasanshin Hospital

理事長 **平 祐 二**  
院長 **原 直 彦**

〒812-0033  
福岡市博多区大博町1番8号  
電話 (092)291-3434 FAX (092)291-3424  
URL <https://www.harasanshin.or.jp/>

 社会福祉法人 **福生会** 支部  
**福岡県済生会二日市病院**


院長 **壁 村 哲 平**

〒818-8516  
筑紫野市湯町三丁目13番1号  
電話 (092)923-1551 FAX (092)924-5210  
URL <https://www.saiseikai-futsukaichi.org>

 **宗像医師会病院**  
M M A H MUNAKATA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

院長 **伊 東 裕 幸**

〒811-3431  
福岡県宗像市田熊五丁目5番3号  
電話 (0940)37-1188 FAX (0940)37-0016  
URL <http://www.mmah.jp>

 社会福祉法人  
バプテスト心身障害児(者)を守る会  
**久山療育園重症児者医療療育センター**

理事長 **宮 崎 信 義**  
センター長 **岩 永 知 秋**

〒811-2501  
福岡県糟屋郡久山町大字久原1869  
電話 (092)976-2281  
FAX (092)976-2172



 **福岡赤十字病院**

日本赤十字社

院長 **中 房 祐 司**

〒815-8555  
福岡市南区大楠3丁目1番1号  
電話(0570)03-1211 FAX(092)522-3066  
URL <https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/>

 社会医療法人  
**弘恵会 ヨコクラ病院**

理事長 **横 倉 義 武**  
院長 **横 倉 義 典**

〒839-0295  
福岡県みやま市高田町濃施480番地2  
電話 (0944)22-5811 FAX (0944)22-2045  
URL <https://yokokura-hp.or.jp>  
E-mail [info@yokokura-hp.or.jp](mailto:info@yokokura-hp.or.jp)

医療法人 ユーアイ



理事長 西野豊彦

〒 820-0206  
福岡県嘉麻市鴨生 532 番地  
電話 (0948)42-1114 FAX (0948)42-4790



病院長 塚本浩

〒 803-8505  
北九州市小倉北区金田 1 丁目 3 番 1 号  
電話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553  
URL <https://shin-kokura.kkr.or.jp>  
E-mail [kk-shinkokura@shin-kokura.gr.jp](mailto:kk-shinkokura@shin-kokura.gr.jp)



病院長 樋口雅則

〒 819-0002  
福岡市西区姪の浜 2 丁目 2-50  
電話 (092)881-0536  
FAX (092)883-8761

当院のホームページ



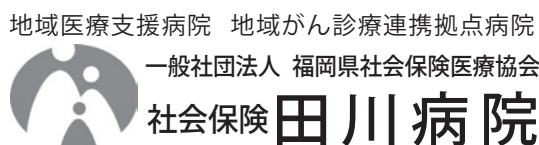
院長 本村健太

〒 820-8505  
飯塚市芳雄町 3 番 83 号  
電話 (0948)22-3800 FAX (0948)29-5744  
URL <http://aih-net.com>



病院長 前原喜彦

〒 815-8588  
福岡市南区塩原三丁目 23 番 1 号  
電話 (092)541-4936 FAX (092)541-4540  
URL <https://www.kyuchu.jp>



院長 黒松肇

〒 826-8585  
福岡県田川市上本町 10 番 18 号  
電話 (0947)44-0460 FAX (0947)45-6540  
URL <https://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp/>

社会医療法人共愛会  
 戸畑共立病院

理事長 下河辺 智久  
院長 今村 鉄男

〒 804-0093  
北九州市戸畑区沢見 2 丁目 5 番 1 号  
TEL (093) 871-5421 (代)  
FAX (093) 871-5499  
URL <https://www.kyoaikai.com/kyoritsu/>



ホームページ

カマチグループ 社会医療法人財団 池友会  
 福岡和白病院

院長 富永 隆治


〒 811-0213  
福岡市東区和白丘 2 - 2 - 75  
電話 (092) 608-0001 FAX (092) 607-3051  
URL <https://www.f-wajirohp.jp>



田川市立病院

田川市 鴻江 俊治  
病院事業管理者  
病院長 松隈 哲人

〒 825-8567  
福岡県田川市大字楠 1700 番地 2  
電話 (0947) 44-2100 FAX (0947) 45-0715  
URL <http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp>  
E-mail [shiritsubyouin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp](mailto:shiritsubyouin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp)

 日本医療機能評価機構認定病院  
救急病院 指定自立支援医療機関(更生医療)

医療法人 シーエムエス

杉循環器科内科病院

理事長 杉 健三  
院長 大内田 昌直

〒 837-0916  
大牟田市大字田隈 950 - 1  
電話 (0944) 56-1119 FAX (0944) 56-2077  
URL <http://www.sugi-hosp.jp>



医療法人 つくし会病院

理事長 中村 奎吾  
院長 野本 健一

〒 816-0902  
大野城市乙金 3 丁目 18 番 20 号  
電話 (092) 503-2261 FAX (092) 503-2474  
URL <http://tsukushi-kai.com/>  
E-mail [general-tsukushikai@awa.bbq.jp](mailto:general-tsukushikai@awa.bbq.jp)



社会福祉法人 済生会支部  
福岡県済生会福岡総合病院

院長 松浦 弘

〒 810-0001  
福岡市中央区天神 1 丁目 3 番 46 号  
電話 (092) 771-8151 FAX (092) 716-0185  
URL <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>  
E-mail [byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp](mailto:byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp)



国家公務員共済組合連合会  
**浜の町病院**  
HAMANOMACHI HOSPITAL

病院長 **谷口 修一**

〒 810-8539  
福岡市中央区長浜 3 丁目 3 番 1 号  
電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262  
URL <https://hamanomachi.kkr.or.jp>  
E-mail [info@hamanomachi.jp](mailto:info@hamanomachi.jp)



地方独立行政法人 福岡市立病院機構  
**福岡市立こども病院**  
Fukuoka Children's Hospital

院長 **楠原 浩一**

〒 813-0017  
福岡市東区香椎照葉 5 丁目 1 番 1 号  
電話 (092)682-7000 FAX (092)682-7300  
URL <https://childhp.fcho.jp>



社会医療法人 水光会  
**宗像水光会総合病院**  
MUNAKATA SUIKOKAI GENERAL HOSPITAL

理事長 **津留 英智**  
院長 **田山 慶一郎**

〒 811-3298  
福岡県福津市日蒔野 5 丁目 7 番地の 1  
電話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981  
URL <https://www.suikokai.or.jp>



医療法人相生会  
**金隈病院**  
LTA

理事長 **入江 伸**  
院長 **田中 洋輔**

〒 812-0863  
福岡市博多区金の隈 3 - 24 - 16  
電話 (092)504-0097 FAX (092)504-1502  
URL <https://kanenokuma-hp.jp/>



社会医療法人財団 池友会  
**香椎丘リハビリテーション病院**  
KASHIIGAOKA REHABILITATION HOSPITAL

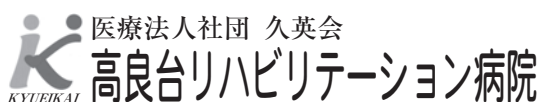
院長 **松尾 義孝**

〒 813-0002  
福岡市東区下原 2 丁目 24 番 36 号  
電話 (092)662-3200 FAX (092)662-3303  
URL [www.kashii-rh.net](http://www.kashii-rh.net)  
E-mail [info@kashii-rh.net](mailto:info@kashii-rh.net)

医療法人 誠心会  
**井上病院**

理事長 **井上 健**  
院長

〒 819-1104  
福岡県糸島市波多江 699 番地 1  
電話 (092)322-3437 FAX (092)322-5806  
URL <https://www.sih.or.jp>  
E-mail [inouehospital@sih.or.jp](mailto:inouehospital@sih.or.jp)



医療法人社団 久英会  
高良台リハビリテーション病院

理事長 中尾 一 久  
院長 永田 剛

〒 830-0054  
久留米市藤光町 965 - 2  
電話 (0942)51-3838 FAX (0942)51-3535  
URL <https://www.kyueikai.jp>  
E-mail [kouradai-web@kyueikai.jp](mailto:kouradai-web@kyueikai.jp)



社会医療法人財団 白十字会  
白十字病院

病院長 渕野 泰秀

〒 819-8511  
福岡市西区石丸 4 丁目 3 - 1  
電話 (092)891-2511 FAX (092)881-4491  
URL <http://www.fukuoka.hakujyukai.or.jp>  
E-mail [hakujyuji@hakujyukai.or.jp](mailto:hakujyuji@hakujyukai.or.jp)



地域医療支援病院  
糸島医師会病院  
ITOSHIMA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

病院長 富田 昌良

〒 819-1112  
福岡県糸島市浦志 532 番地 1  
電話 (092)322-3631 FAX (092)322-1206  
URL <http://itomedhp.jp/>



医療法人社団 江頭会  
さくら病院

理事長 江頭 啓介  
院長 江頭 省吾

〒 814-0143  
福岡市城南区南片江 6 丁目 2 番 32 号  
電話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570  
URL <http://www.sakurahp.or.jp>



福岡大学西新病院  
Fukuoka University Nishijin Hospital

病院長 山本 卓明

〒 814-8522  
福岡市早良区祖原 15 番 7 号  
電話 (092)831-1211 FAX (092)831-3398  
URL <https://www.nishijin.fukuoka-u.ac.jp>



医療法人 社団 俊聖会  
甘木中央病院

理事長 堀田 謙介

〒 838-0068  
福岡県朝倉市甘木 667  
電話 (0946)22-5550 FAX (0946)24-3572  
URL <https://www.amagichuuou-hp.jp>



創立 70 周年 (1955 年創立)

救急病院 開放型病院 臨床研修病院指定



医療法人 **西福岡病院**

日本医療機能評価機構認定病院 (3rdG:Ver2.0)

理事長 安藤 文英

院長 渡辺 憲太郎

〒 819-8555 福岡市西区生の松原 3 丁目 18 番 8 号

TEL.092-881-1331 FAX.092-881-1333

URL <http://www.nishifukuhp.or.jp>

Mail [jim@nishifukuhp.or.jp](mailto:jim@nishifukuhp.or.jp)



地方独立行政法人 福岡市立病院機構

**福岡市民病院**

院長 **堀内 孝彦**

〒 812-0046

福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号

電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900

URL <https://www.fcho.jp/shiminhp/>



社会医療法人 **雪の聖母会**

理事長 井手 義雄

**聖マリア病院**

病院長 谷口 雅彦

〒 830-8543 福岡県久留米市津福本町 422 番地

電話 (0942)35-3322 FAX (0942)34-3115

URL <https://www.st-mary-med.or.jp/top.php>

**聖マリアヘルスケアセンター**

病院長 井手 睦

〒 830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5

電話 (0942)35-5522 FAX (0942)34-3306

URL <https://www.st-mary-health.jp>



独立行政法人 国立病院機構

**福岡東医療センター**

院長 **中根 博**

〒 811-3195

福岡県古賀市千鳥 1-1-1

電話 (092)943-2331 FAX (092)943-8775

URL <https://fukuokae.hosp.go.jp>



公益社団法人福岡医療団

**千鳥橋病院**

福岡医療団  
FUKUOKA IRYO DAN

CHIDORIBASHI HOSPITAL

病院長 **山本 一 視**

〒 812-8633

福岡市博多区 5 丁目 18-1

電話 (092)641-2761 FAX (092)633-3311

URL <https://www.chidoribashi-hp.or.jp/>

E-mail [soumu@fid.jp](mailto:soumu@fid.jp)



**公立八女総合病院**

Yame General Hospital

院長 **田中 法 瑞**

〒 834-0034

福岡県八女市高塚 540 番地 2

電話(0943) 23-4131 / FAX(0943) 22-3185

URL <https://www.hosp-yame.jp>



医療法人 緑心会

## 福岡保養院

Fukuoka Hoyooin

理事長 大村重成  
院長

〒815-0004  
福岡市南区高木1丁目17番5号  
電話 (092)431-3031 FAX (092)431-3190  
URL <http://f-hoyooin.com>



医療法人 相生会

## 福岡みらい病院

院長 益田宗孝

〒813-0017  
福岡市東区香椎照葉3丁目5番1号  
電話 (092)662-3001 FAX (092)662-3002  
URL <https://www.fukuoka-mirai.jp>



医療法人 済世会

## 河野名島病院

KAWANO NAJIMA HOSPITAL

理事長 河野正美  
院長 津田泰夫

〒813-0043  
福岡市東区名島4丁目28番53号  
電話 (092)681-5231 FAX (092)672-1525  
URL <https://www.kawano-hp.com>  
E-mail [kawanonajima@kawano-hp.com](mailto:kawanonajima@kawano-hp.com)



## 原土井病院

HARADOI HOSPITAL

理事長 原寛  
院長 野村秀幸

〒813-8588  
福岡市東区青葉6丁目40番8号  
電話 (092)691-3881 FAX (092)691-1059  
URL <https://www.haradoi-hospital.com>

一番大切な思いやり...  
「安心・安全・清潔」

**TAIYO** 太陽セランドグループ  
太陽セランドホールディングス株式会社  
〒812-0044 福岡市博多区千代1-1-5  
TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社  
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200  
TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 社長 中島 健介

医療関連  
サービスマーク認定  
太陽セランドグループ会社

〓 太陽セランドホールディングス株式会社 〓 太陽セランド株式会社 〓 太陽シルバースervice株式会社 〓 ジャパンエアマツ株式会社 〓 株式会社北九州シーアイシー研究所

お問い合わせ TEL 0947-44-1847 Mail [info@taiyoseland.co.jp](mailto:info@taiyoseland.co.jp) Web <http://www.taiyoseland.co.jp>

ほすびたる 776 号をお届けします。

今号は巻頭に、「新年のご挨拶」をいただきました。福岡県知事の服部誠太郎様、福岡県医師会会長、蓮澤浩明様、そして当福岡県病院協会会長の中村雅史様より貴重なお言葉を賜りました。先行きの見えにくい中であって、リーダーシップを発揮されている皆さまより、新年に向けての力強いお言葉をいただき、心強く思いました。本当にありがとうございました。

さて、お正月に、NHK テレビで、「タモリと鶴瓶の新春初しゃべり会」というトーク番組が放映され、楽しく観させてもらいました。さすが、お二人とも当代きってのトーク名人。二人の間に入って、やさしくいじられていた俳優の内村光良さんもたじたじするような毒舌の掛け合いに、お腹の底から笑われました。お二人から発せられるジョークやユーモアは、知的で、格調さえ感じさせるものでした。

番組を観ながら、50 年以上も昔のことを思い出しました。当時、日曜日のお昼に、NHK で放送されていた「アンディ・

ウイリアムショー」です。アメリカを代表する歌手のひとり、アンディ・ウイリアムスが歌い、ゲストとトークするバラエティ番組です。アンディとゲストのトークがウィットの利いたユーモアとジョークに溢れ、このようなトークに始めて接した私たちは、驚くとともに、このような文化をもつ、アメリカという国にあこがれを抱きました。

往年の名曲、「Faraway Places」は名歌手ビング・クロスビーによって 1948 年米国で録音され、その後多くの歌手によってカバーされています。切ないまでに、未知の国に憧れる気持ちが歌われています。ウェブが発達した近年では、このような憧れを持つことは少なくなったように思います。ちょっと寂しい気もします。

世界が平穏でありますように、そして、今年も「ほすびたる」が愛読されますように。編集委員会一同、心より願っております。

(岡嶋泰一郎 記)

## ほすびたる

第 776 号

令和 7 年 1 月 20 日発行

発行 © (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2 丁目 9 番 30 号  
福岡県メディカルセンタービル 2F  
TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313  
E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp  
URL <http://www.f-kenbyou.jp>

編集人 © (公社)福岡県病院協会

制作 © (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代 3-2-1  
麻生ハウス 3F  
TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095  
E-mail : [mail@azusashoin.com](mailto:mail@azusashoin.com)

編集主幹…中村 雅史

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…平 祐二

編集委員…壁村 哲平・岩永 知秋

中房 祐司・伊東 裕幸

横倉 義典・大嶋 由紀

## 第9回 病院研修会のご案内

日 時 令和7年3月4日（火）18：00～20：15（受付開始17：30）

場 所 九州大学医学部百年講堂 1階 大ホール

参加料 1名につき 3,000円

参加締切 令和7年2月19日（水）

共 催 一般社団法人福岡県私設病院協会

後 援 福岡県、公益社団法人福岡県医師会、  
公益社団法人福岡県看護協会

テ ー マ 「医療従事者の人材確保 ～現状と課題 そして対策～」

### 基調講演

(1) 「福岡県の医師・看護職員の確保策について」

講師：福岡県保健医療介護部

医療指導課医師・看護職員確保対策室長 甲斐 庸恭 先生

(2) 「薬剤師、MSW等医療関係職種の現状と課題」

講師：福岡県済生会二日市病院 院長

壁村 哲平 先生

### シンポジウム 「病院における先進的な取組の紹介」

(1) 「医師だけにしかできない仕事に専念できる環境作り  
～当院における診療看護師（NP）の活躍～」

社会医療法人財団白十字会白十字病院 病院長 淵野 泰秀 先生

(2) 「特定行為看護室設置に至った背景とその成果」

福岡県済生会福岡総合病院 副看護部長 / 特定行為看護師 三山 麻弓 先生

(3) 「“病棟医 / 病院総合医” の育成と活用をめざして」

福岡県済生会二日市病院 副院長

門上 俊明 先生

(4) 「救急領域における病院救命士の有効活用について」

北九市立八幡病院 名誉院長

伊藤 重彦 先生

### 質疑応答